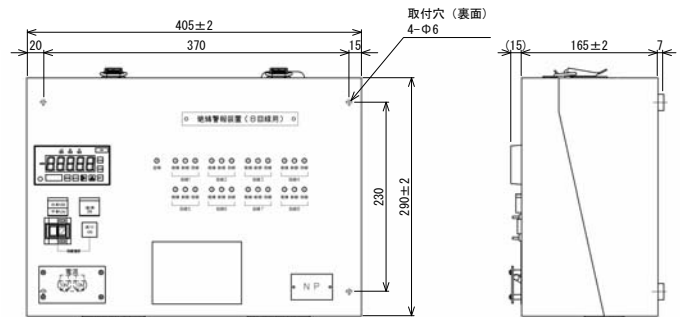
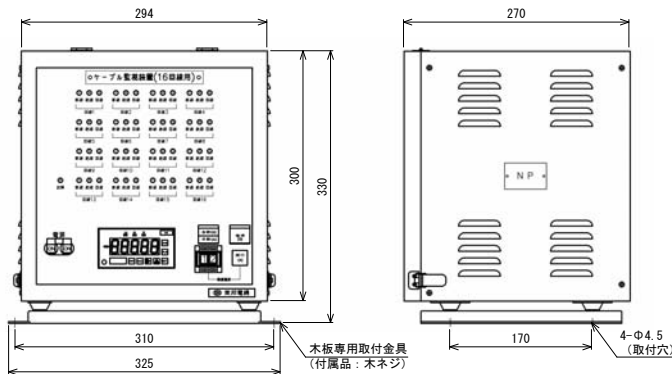


ケーブル監視装置/絶縁警報装置 SL4029※-01

特長

- ◆ 信号ケーブルのパイロット線を監視回線として、これに直流電圧を印加し監視します。
- ◆ 監視回線の断線または絶縁不良を検知すると、警報の接点を開放します。
- ◆ 複数の回線をポーリング方式にて順次監視します。
- ◆ 切替スイッチにより、手動で任意の監視回線を設定できます。



【ケーブル監視装置 16 回線用】

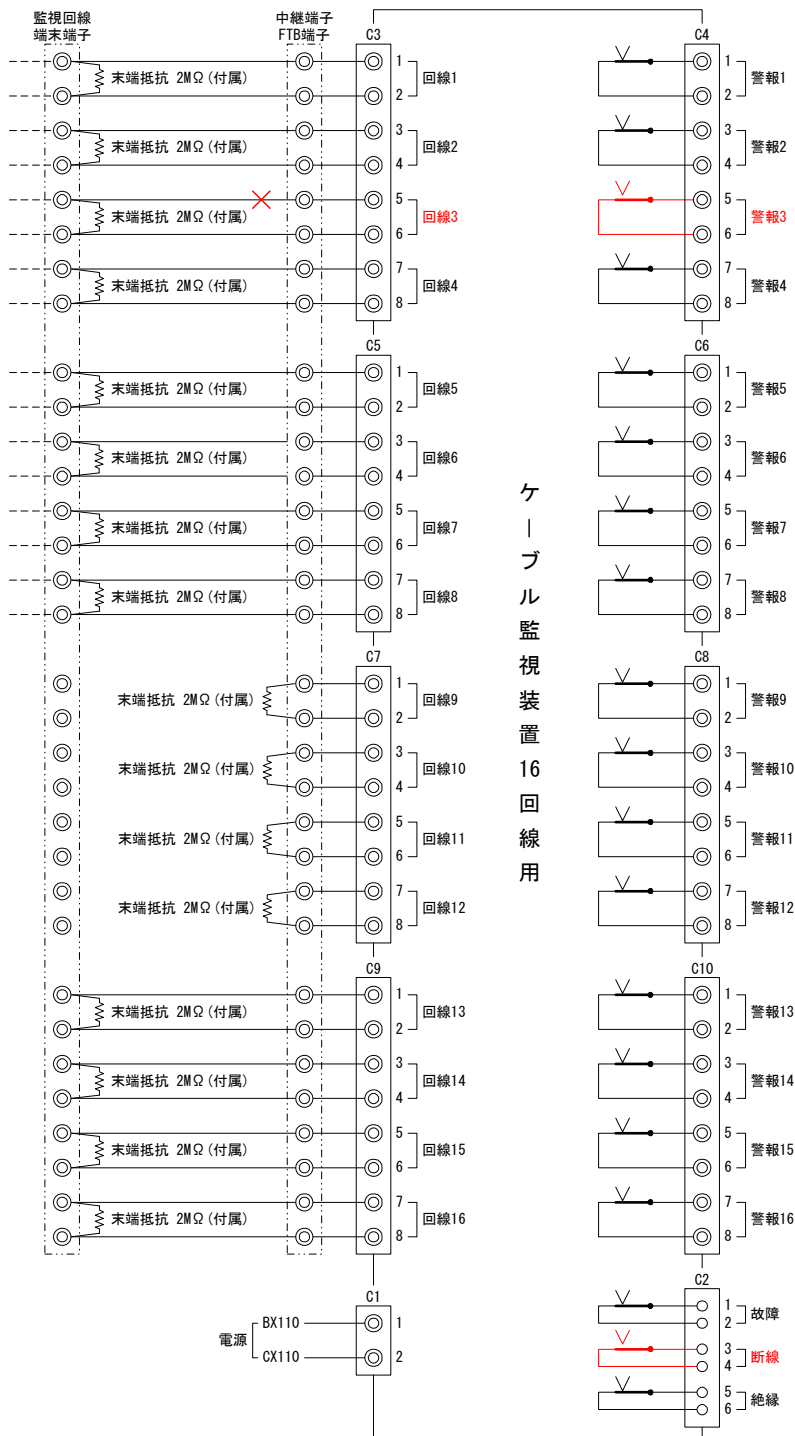
【絶縁警報装置 8 回線用】

定格および性能

| 種類 | ケーブル監視装置 | | | 絶縁警報装置 | |
|----------|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 4 回線用 | 8 回線用 | 16 回線用 | 8 回線用 | 16 回線用 |
| 定格電圧 | AC110V(電圧変動許容範囲: AC88~121V) | | | | |
| 消費電流 | 500mA 以下(定格電圧時) | | | | |
| 寸法 W×H×D | 325×225×270 mm | 325×260×270 mm | 325×330×270 mm | 405×290×192 mm | 405×290×232 mm |
| 質量 | 12.5kg | 14.0kg | 16.5kg | 13.0kg | 15.0kg |
| 品番 | SL40291-01 | SL40292-01 | SL40293-01 | SL40294-01 | SL40295-01 |

・寸法は突起部を含みません。

【結線例(ケーブル監視装置16回線用)】



【警報接点について】

警報接点は無電圧接点です。
正常時、接点は構成されています。
回線異常時、接点は開放されます。

【警報出力について(C2端子)】

故障: 本体内の制御部が故障したときに出力します。

断線: 監視回線のどれかが断線を起こしたときに出力します。

絶縁: 監視回線のどれかが絶縁不良を起こしたときに出力します。

【警報出力例】

左の結線図上で、回線3で断線が発生したとします。(図中の×)

警報3の接点が開放します。

(図中のC4端子の5-6間)

と同時に断線の接点も開放します。

(図中のC2端子の3-4間)

これで、回線3で断線が発生したことがわかります。

【結線上の注意】

☆ 監視する回線の末端には付属の末端抵抗(2MΩ)を必ず取り付けて下さい。末端抵抗を取り付けなかったり、抵抗値が異なると監視回線の抵抗値が正しく測定できませんので、ご注意ください。

☆ 空き回線(結線図中のC7端子)がある場合には、本装置そばの中継端子(FTB端子M6)に付属の末端抵抗を取り付けてください。空き回線があると警報を出力しますので、ご注意ください。

☆ 付属の末端抵抗は、中継端子(FTB端子M6)に取り付けられるようになっております。